



令和5年度 基本評価調書		所管部局	環境生活部	所管課	アイヌ政策課		
施策名	アイヌ文化の振興			施策コード	0314		
政策体系(中項目)	ふるさとの歴史・文化の発信と継承			政策体系コード	3(4)A		
関連重点戦略計画等	知事公約 北海道創生総合戦略					事務事業数	9
特定分野別計画	北海道アイヌ政策推進方策						
SDGs					総合判定	概ね順調	
予算額(千円)	R 5	451,666千円	R 4	550,509千円	R 3	508,708千円	

施策目標	<ul style="list-style-type: none"> アイヌ文化の保存・伝承を促進し、アイヌ文化の振興を図るとともに、アイヌの人たちの伝統や文化に関する理解の促進に取り組む。 G7環境大臣会合やA TWSなどの国際的なイベントの道内開催を契機に、「ウポポイ（民族共生象徴空間）」をはじめとした道内アイヌ文化関連施設の魅力の発信を強化する。
現状と課題	<p>(アイヌ文化の保存・伝承)</p> <ul style="list-style-type: none"> アイヌの人たちは長い歴史の中で民族として独自の伝統や文化を培ってきたが、伝承者の高齢化などからアイヌ語やアイヌ文化の保存・伝承が急がれる状況にあることから、アイヌ文化を次世代に継承することができるよう、その保存・伝承を促進する取組が必要である。 (理解促進、発信強化) コロナ禍による人の移動の制限は、アイヌ文化に触れる機会を減少させたが、今後、人流・インバウンドの回復に向け、アイヌ文化体験機会の創出や持続的な情報発信等の普及啓発をすすめ、人々の理解促進を図る取組が必要である。
前年度二次評価意見	
対応状況	

〈主な取組〉

今年度の取組	<p>(アイヌ文化の保存・伝承)</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京2020オリンピック大会で披露したアイヌ文化発信パフォーマンスをレガシーとして継承する取組 アイヌ工芸品の認知度向上や販路拡大、伝統工芸の技術継承・担い手育成の取組 (理解促進、発信強化) ウポポイへの誘客促進、ウポポイの開業効果を全道に波及させるため、縄文遺跡や食などの地域資源との連携や文化体験学習、イベント等でのPRにより、アイヌ文化への理解の促進並びに道内アイヌ関連施設の来訪につなげる取組 「イランカラプテ」キャンペーンなど関係機関・団体等と連携した取組及び独自の取組
実績と成果	<p>(アイヌ文化の保存・伝承)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「G7札幌気候・エネルギー環境大臣会合」や「日本・ハワイ州姉妹都市サミット」など国際イベント等を活用し、国内外にアイヌ舞踊を発信することができ、アイヌ文化への関心を高めるきっかけとなった。 アイヌ工芸品の販路拡大に向けた取組として、札幌市内にアンテナショップを開設し、アイヌ工芸品をはじめ購入した人が15%となり、新たな販路の拡大につながった。(R4 アンテナショップ:3か月間) アイヌ伝統工芸の技術伝承の機会の創出として、アイヌ工芸家の派遣による出前講座の実施、また出前講座受講生徒の派遣によるインターン研修を実施し、アイヌ文化や工芸について今後「積極的に学びたい」との回答が約半数に及び、アイヌ工芸への理解促進が図られた。(R4 出前講座3回、インターン研修2回) 札幌と東京で工芸家とバイヤーのマッチングイベントを開催し、作家13名、バイヤー企業28社が参加し、販路拡大に向けた商談へのスタートを切ることができた。(R4 マッチングイベント 札幌1回、東京1回) (理解促進、発信強化) 各種広報媒体によるウポポイやアイヌ文化のPRを実施し、アイヌ文化の理解促進が図られた。(R4 テレビCM89本、無料情報誌(JP01)作成・配布60,000部、PR動画の多言語版(7カ国)の作成・配信 など) アイヌ伝統料理アレンジレシピの開発・普及、ホテル等での提供により、アイヌ文化の関心が高まった。
参考HP①	AINU MUSEUM TRIP https://ainumuseum-trip.jp/
参考HP②	
参考HP③	

〈指標分析〉 ⇒ 成果指標は、原則、取組項目ごとに1つ以上、全体で5つ以下とする

指標名①	増加	%	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
「アイヌ民族が先住民族であること」の認知度		目標値	—	88.0	90.1	98.0	97.1%	B
		実績値	—	87.5	87.5			

設定理由 アイヌ施策の目標である「全ての道民が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資する」という観点に立ち、課題である「アイヌの歴史・文化に関する理解の促進、発信強化」に係る取組の成果を測る指標として設定。

指標公表時期 毎年調査、11月頃公表 **出典（根拠計画等）** 北海道総合政策部「北海道の人口減少などに関する意識調査」

分析（主な取組と成果）

R4実績値は目標には達していないものの、アイヌの考え方や言葉を学びながら理解を深めるための幼児向け人形劇と、アイヌの歴史や文化をテーマにした一般向け啓発動画の配信などにより、R3実績値と同値で推移している。

指標名②	増加	%	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
「アイヌの人たちが独自の伝統や文化を培い、伝えていること」の認知度		目標値	—	86.0	90.4	98.0	96.8%	B
		実績値	—	87.8	87.5			

設定理由 アイヌ施策の目標である「全ての道民が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資する」という観点に立ち、課題である「アイヌ文化の保存・伝承」に係る取組の成果を測る指標として設定。

指標公表時期 毎年調査、11月頃公表 **出典（根拠計画等）** 北海道総合政策部「北海道の人口減少などに関する意識調査」

分析（主な取組と成果）

R4実績値は目標には達していないものの、R3年度に引き続き、各種広報媒体によるウポポイやアイヌ文化のPR、またアイヌ工芸品の販路拡大の取組としてアンテナショップの開設、またアイヌ伝統工芸の技術伝承の機会の創出として、アイヌ工芸家の派遣による出前講座の実施、出前講座受講生徒の派遣によるインターン研修の実施などにより、R3実績値と同水準で推移している。

指標名③			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
		目標値					—	—
		実績値						

設定理由

指標公表時期 **出典（根拠計画等）**

分析（主な取組と成果）

指標名④			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
		目標値					—	—
		実績値						

設定理由

指標公表時期 **出典（根拠計画等）**

分析（主な取組と成果）

指標名⑤			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
		目標値					—	—
		実績値						

設定理由

指標公表時期 **出典（根拠計画等）**

分析（主な取組と成果）

〈取組分析（連携状況、緊急性・優先性）〉

連携状況	(課題) ・ウポポイをはじめ、道内各地のアイヌ関連施設の誘客促進を図るため、関係団体等と連携し、普及啓発等の取組を一層進めていく必要がある。
	(取組) ・国や財団と連携し、ウポポイの誘客促進はもとより、その効果を道内各地に波及させるとともにウポポイ官民応援ネットワークに参加する227企業・団体の創意工夫したアイヌ文化の発信に関する取組により、道内の経済活性化や地域振興にもつなげていく。
緊急性 優先性	(課題) ・アイヌの人たちへの正しい理解の促進やウポポイの魅力向上、誘客促進に向けて、取組の充実と必要な予算の確保が必要である。
	(取組) ・アイヌ施策推進法に基づき国民に対する正しい理解の促進を図り、アイヌの人たちに対するいわれのない差別の解消に努めるとともに、アイヌ政策推進交付金予算の十分な確保、ウポポイの誘客促進などについて、国に対して、提案・要望を実施している。(R5年6月) (アイヌ政策推進交付金予算額 R3 20億円、R4 20.5億円、R5 20.3億円) (ウポポイ誘客数 R3 190,618人、R4 369,038人、R5 132,878人(7月末現在))

〈取組分析（その他の統計数値等）〉

成果指標で課題への対応を説明済

統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
分析等			
(課題)			
(分析等)			
統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
分析等			
(課題)			
(分析等)			
統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度
分析等			
(課題)			
(分析等)			

〈総合判定〉

指標判定	B	連携状況	○	総合判定	概ね順調
		緊急性・優先性	○		
		その他の統計数値等	—		

※ 成果指標の指標判定が「D」の指標

(—)

翌年度に向けた 対応方針	対応方針番号	内容
	①	アイヌ民族に関する認知度やアイヌの歴史・文化に関する理解度の更なる向上のため、「北海道アイヌ政策推進方策」に掲げる施策の柱である「理解の促進」、「生活の向上」、「文化の振興」、「地域、産業及び観光の振興」、「多様な文化との交流促進」を総合的に推進する。
	②	
	③	

〈二次政策評価〉

二次政策評価	【施策の緊急性・優先性】 ウポポイ開業効果の活用や今後の方向性を踏まえ、効果的・効率的な執行体制の構築を進めること。
--------	---

令和5年度 事務事業評価調書				施策名	アイヌ文化の振興	施策コード	0314
----------------	--	--	--	-----	----------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業費 (千円)	事業費 (千円)	うち 一般財源	執行体制			フル コスト (千円)	一次政策評価		二次政策評価意見
									本庁	出先機関	人工計		対応 方針 番号	方向性	
1010	0309	一般	アイヌ協会補助金	アイヌの人たちの社会的・経済的地位の向上を図るため、(公社)北海道アイヌ協会が実施する事業に対して行う補助に関する業務	アイヌ政策課	0	36,868	36,868	0.0	0.0	0.0	36,868	①	改善(取組分析)	
1013		一般	アイヌ民族文化財団事業費補助金	アイヌ施策推進法に基づき設置された(公財)アイヌ民族文化財団の補助に関する業務	アイヌ政策課	0	304,231	304,231	0.6	0.0	0.6	308,935	①	改善(取組分析)	
1014		事務	アイヌ文化等の情報発信に関する事務	民間企業や関係団体等と連携して、アイヌ文化等に関する道民の理解を促進するためのフォーラムや、アイヌ文化の情報発信のあり方について検討する会議の実施、運営	アイヌ政策課	0	0	0	0.7	0.0	0.7	5,488	①	改善(取組分析)	
1015		一般	アイヌ総合センター管理運営費	道立アイヌ総合センターの指定管理に関する業務	アイヌ政策課	0	10,567	10,567	0.5	0.0	0.5	14,487	①	改善(取組分析)	
1011	0309	事務	アイヌ政策課総合調整等業務	道議会事務、国連宣言や国会決議に関する事務、予算決算等室内の庶務に関する事務全般及びアイヌ政策課内の事務の処理に関する事務	アイヌ政策課	0	0	0	0.3	0.0	0.3	2,352	①	改善(取組分析)	
1016		一般	ウポボイ・アイヌ文化関連施設等魅力発信事業	アイヌ文化の魅力を発信し、ウポボイをはじめ地域のアイヌ文化施設への来訪促進を図るため、道内外で開催するイベント等でのPRのほか、アイヌの食文化を通じた新たな関心層の発掘を実施。	アイヌ政策課	0	35,319	35,319	0.8	0.0	0.8	41,591	①	改善(取組分析)	【施策の緊急性・優先性・事務事業の有効性】 ※基本評価調書<二次政策評価>参照
1017		一般	アイヌ文化パフォーマンス発信事業	道内各地域の特色あるアイヌ舞踊や歌等を取り入れたアイヌ舞踊パフォーマンス「ウポボヤンリムセヤン」を、国内をはじめ海外にも広く発信するとともに、舞踊を継承する担い手の育成を行う。	アイヌ政策課	0	41,545	0	0.8	0.0	0.8	47,817	①	改善(取組分析)	
1018		一般	アイヌ工芸品販路拡大・担い手育成推進事業	道内各地域の特色あるアイヌ工芸品の魅力に触れる機会を増やすため、民営アンテナショップの支援等により販路拡大を図るとともに、伝統技術の保存や伝承を担う「若き担い手」の育成を行う。	アイヌ政策課	0	13,305	13,305	0.8	0.0	0.8	19,577	①	改善(取組分析)	
0837		一般	アイヌ文化地域振興支援事業	道内各地におけるアイヌ文化振興と継承者育成等の課題に対し、道立博物館の蓄積を活かした支援を行い、地域に即した理解促進や関心の高まりに繋げ、文化継承の人材育成及びウポボイへの誘客を促す。	文化振興課	0	9,831	9,831	0.0	0.5	0.5	13,751			
計						0	451,666	410,121	4.5	0.5	5.0				

